

# 大名みえ子です

2015. 12. 4 No.307

東海村村松 2401-2

電話・fax 029-284-0761

## 12月議会で行う一般質問項目

- 1.戦争法(平和安全法制)への政治姿勢
- 2.原子力災害における避難計画策定と東海第二原発の再稼働是非の問題について
- 3.行財政改革を中心とする「村政改革」は何のために行うのか
- 4.TPP「大筋合意」に伴う村内農産物への影響

### 国会論戦で明らかになった「戦争法の3つの問題」

**第1** 戦争法案が憲法違反であること。「戦闘地域」での兵たん、戦乱が続いている地域での治安活動、米艦防護のための武器使用、そして集団的自衛権の行使—そのどれ憲法を踏み破る、海外での武力行使そのものである。

**第2** 安倍政権がついに国民の理解を得ることができなかったこと。自民党の高村正彦副総裁は、戦争法案を、「国民の理解が得られなくても成立」させると言い、国民の6割以上が「今国会での成立反対」の意思表示のなか採決を強行した。

**第3** 自衛隊の暴走という大問題。自衛隊の河野克俊統幕長が、昨年12月に訪米し米軍幹部と会談した際、戦争法案は「来年夏までには終了する」と米軍側に約束していたことは、「軍の暴走」である。

以前の質問で村長は、

「村内の子どもたちが海外に駆り出されるようなことは、絶対あってはならないと考えるし、村民の命を守る立場でやっていきたい」

と、答えています。戦争法が現実となった今、村民に自衛隊入隊などの勧誘があった場合、村長は、「それは個人の判断だ」と、するのか、それとも、「**村民には、自衛隊入隊勧誘は行わないよう**」きちんと**申し入れるのか**が問われています



### 問い合わせが入っています

## 東京ガスの日立 LNG 基地の試運転開始について

東京ガスの11月5日付プレス発表では、「11月9日に第一船目となるLPG船が入港し、同日より試運転を開始。また、試運転期間中の12月1日には、LNG船の第一船目の入港を予定」と、しています。村民の方から、「**原発の目の前で、基地で事故が起きたらどうなるのか?**」と、心配の声が寄せられています。東京ガスのHPからご紹介します。



日立 LNG 基地 (東京ガス HP より)

試運転では、まずLPGをタンクに受け入れ、LPG関連の設備や機器の機能確認を行う。その後、LNGをタンクに受け入れるとともに、LNG気化器等の機能確認と総合調整を行い、2015年度中に稼働を開始する。なお、LPGの受け入れ以降、12月下旬まで、LPGやLNGの一部が気化して発生するガスを安全に処理するために、フレア放散を行う、となっています。

受け入れたLNGやLPGの一部が気化して発生するガスは、設備や機器の機能確認が完了するまでは品質が一定ではないため、基地内に設置したフレアスタック(煙突)でフレア放散(燃焼処理)を行う、ということです。しかし、**近隣住民の心配に答える形になっていません。事業計画などの説明と質疑の場が必要と感じています。**